

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
7	長谷川祐司（4）	<p>1. 富士市職員の時間外労働時間管理及び職場環境について  昨年2月定例会にて、コロナ禍における富士市職員の過労死ラインを超える勤務の対応について一般質問をさせていただきました。市長答弁では、部長、課長といった所属長は、全職員の業務内容等を日頃から十分把握しているため、全ての所属長に対し、今日の議論を踏まえた中での職員の健康管理については改めて徹底を図り、しっかりとマネジメントしていくよう指示したいとのことでした。そこで、令和4年度の勤務状況についてお聞きいたします。</p> <p>(1) 令和3年度職員の過労死ラインを超える時間外労働時間に対し、職員の健康を害する勤務にならないマネジメントにより職員の時間外労働時間に変化があったのでしょうか。</p> <p>(2) 令和3年度の選挙管理委員会事務局で、衆議院議員総選挙及び参議院静岡県選出議員補欠選挙により、時間外労働時間1か月250時間をオーバーした職員が4名いたとのことでしたが、本年4月の県議会議員選挙及び市議会議員選挙に向けてどのように時間外労働時間管理を行っていくのかお聞きいたします。</p> <p>(3) コロナ禍で業務が増えたとの声を聞くことがよくありますが、そもそも業務量に対し、職員の工数が足りていない部署はあるのでしょうか。</p> <p>2. 富士市としての生活困窮者への対応について  昨年12月20日に連合静岡から川勝平太静岡県知事に対し、生活困窮者の実情を鑑み、要請書が提出されました。昨今の物価高騰で生活困窮者支援の必要性が高まっていることから要請を行ったものですが、富士市としての生活困窮者への対応についてお聞きいたします。</p> <p>(1) 生活困窮者に対し、伴走型支援は強化されているのでしょうか。</p> <p>(2) 住居を失った人や失うおそれのある人に対し、家賃補助や公営住宅の入居条件の緩和など、住まいに対する支援策は行っているのでしょうか。</p> <p>(3) 生活困窮家庭の子供の貧困対策として、親への経済的支援や就労支援、食事支援、生活支援、学習支援など、包括的に行っていることはあるのでしょうか。</p>	市長 及び 担当部長